

## 5. 広げる ~確かな学びを積み重ねて~

### 高齢者擬似体験



やってみると大変さが  
よく分かりました。

### 車いす体験



段差や坂を  
乗り越えるのは  
大変でした。

### アイマスク体験



ヒューレおおいたは、  
J:COM ホルトホール 大分  
1階にあるよ！

「ヒューレおおいた」  
では、様々な体験活  
動ができるんだ！

こんな記事も  
あったよ！

体験を通して  
「相手の立場に立って接したい」  
という気持ちが強くなって  
きたぞ。

その気持ちが  
「差別をなくす」という行動  
へつながっていくんだね。

群馬県にある伊香保温泉  
での話である。1990年  
代のことだ。一軒の旅館で、  
大浴場にいた宿泊客が怒声  
をあげ、苦情を訴えていた。  
障害者の客が浴場を汚した  
からだつた。すみません、す  
みません。女将（おかみ）  
だつた松本和子（ともこ）さ  
ん（80）は何度も頭を下げ、  
謝った。  
それでも客の怒りは収ま  
らなかつた。ついには障害  
者の宿泊が悪いかのような  
ことも口にした。女将はた  
まりかねて言つた。「お客さ  
んが別の旅館に行つてもら  
えませんか。この人たちは、  
うちにしか来られないんじ  
すよ」

確かに当時、車イス用の  
設備を整え、障害者を積極  
的に受け入れている宿は少  
なかつた。そばにいた娘の  
由紀（ゆき）さん（54）は思つ  
た。乱暴な言い方だけど母  
親は間違つてない。「あつぱ  
れ。うちはそういう旅館な  
んだ」

群馬県にある伊香保温泉  
での話である。1990年  
代のことだ。一軒の旅館で、  
大浴場にいた宿泊客が怒声  
をあげ、苦情を訴えていた。  
障害者の客が浴場を汚した  
からだつた。すみません、す  
みません。女将（おかみ）  
だつた松本和子（ともこ）さ  
ん（80）は何度も頭を下げ、  
謝った。

先代女将の和子さんに尋  
ねてみた。なぜ、あのとき、  
あんなことを言つたのです  
か。和子さんは言いよどん  
でいたが、やがてボツリと  
言つた。中学のとき、小児ま  
けの仲良しの友だちがいた  
こと。その子が悲しい思い  
をしていたこと。

「でもね、そういう世の中  
じゃいけないと思ったんで  
すよ」。和子さんは穏やかに  
語つた。窓の外では、上州の  
連山が悠々たる姿を見せ  
ていた。

## 「女将の思い」

〔朝日新聞 2023.12.9  
〔天声人語〕より〕

「無意識の偏見」に気づき・向き合うことが、差別をなくすことに  
つながっていきます。

ちょっと立ち止まって、自分の中の「当然」「ふつう」  
を見つめなおしてみませんか？



豊かな心を育む人権・同和教育